

# 鳥取縣公報

昭和十九年五月二日  
第千五百二十三號

火曜日

本書ノ大キサハ國定規格A5判

## 目次

● 告示	
● 出産用綿配給量變更……………	一頁
● 縣食肉統制組合統制規程設定認可……………	一頁
● 縣統計審査委員會規程制定……………	二頁
● 保險醫異動……………	二頁
● 縣海軍兵器工業統制組合統制規程設定認可……………	三頁
● 縣陶磁器製造統制組合統制規程設定認可……………	三頁
● 石炭ノ販賣價格改正……………	三頁
● 專攻科設置……………	五頁
● 新炭配給統制規則改正……………	五頁
● 蠶絲業經營改善施設補助規程改正……………	六頁
● 養蠶實行組合解散認可……………	七頁
○ 正 誤……………	七頁

## 告示

### 鳥取縣告示第二百二十四號

昭和十九年一月鳥取縣告示第二十八號出産用局方ガーゼ及綿竝家庭用綿配給統制要綱第十一ノ但書ノ規定ニ依リ其ノ數量ヲ左ノ通變更シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

購入券ニ表示スベキ材料品ノ數量ヲ出産用局方ガーゼニメ  
1トル、綿百グラムトス

### 鳥取縣告示第二百二十五號

商工組合法第三十九條ノ規定ニ依リ昭和十九年四月二十七  
日鳥取縣食肉統制組合統制規程設定ノ件認可セリ

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

鳥取縣告示第二百二十六號

鳥取縣統計審査委員會規程左ノ通定ム

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

鳥取縣統計審査委員會規程

第一條 重要統計事項ノ審査並統計調査ノ整備ヲ圖ル爲縣ニ統計審査委員會ヲ設ク

第二條 委員會ハ會長一人、委員若干人ヲ以テ組織ス

特別ノ事項ヲ審査スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置ク

コトヲ得

第三條 會長ハ知事之ニ當ルモノトス

第四條 委員及臨時委員ハ縣高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ知事之ヲ命シ又ハ委嘱ス

第五條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ知事ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代

理ス

第六條 委員會ニ幹事ヲ置キ文書課長ヲ以テ之ニ充ツ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ會務ヲ總理ス

第七條 委員會ニ書記ヲ置キ官吏、吏員其ノ他ノ中ヨリ知事之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ會務ニ従事ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鳥取縣告示第二百二十七號

健康保險法、國民健康保險法並ニ船員保險法ニ基ク保險醫左ノ通異動アリタリ

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

診療所所在地

保險醫氏名

異動事項

異動年月日

八頭郡智頭町大字郷原一四〇番地

鳥取市立川町二丁目空番地

岡田 可知 診療所々々在地變更

昭和十八年十二月一日

鳥取縣告示第二百二十八號

商工組合法第三十九條ノ規定ニ依リ昭和十九年四月二十六日鳥取縣海軍兵器工業統制組合法統制規程設定ノ件認可セリ

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

鳥取縣告示第二百二十九號

商工組合法第三十九條ノ規定ニ依リ昭和十九年四月二十六日鳥取縣陶磁器製造統制組合法統制規程設定ノ件認可セリ

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

鳥取縣告示第二百三十號

昭和十七年四月鳥取縣告示第百八十三號(生石灰及消石灰ノ最高販賣價格指定ノ件)中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

山口縣產ノ項ヲ左ノ如ク改ム

一、山口縣產

(一) 生石灰(塩焼ノモノ)

種別	規 格		卸賣業者又ハ縣農業會ノ販賣價格	小賣業者又ハ市町村農業會(農業會無場合)ノ販賣價格
	荷造	量 目		
特選品 酸化カルウシム分九〇%以上含有モノ	撤	一、〇〇〇圓	三三、三五圓	三七、七四圓
	同	一八	二六	二四
	同	三〇	一、五七	一、七六
	同	三七	一、九七	二、一六
	同	三五	二、〇五	二、二九
	同	四五	二、四一	二、六九
	同	五五	二、六〇	二、七五
	密封	一五	一、六〇	一、七五
一等品 酸化カルウシム分八〇%以上含有モノ	撤	一、〇〇〇圓	三一、九一	三六、〇七
	同	一八	八〇	八九
	同	三〇	一、二二	一、三七
	同	三七	一、五三	一、六九
	同	三五	一、九四	二、一四
	同	四五	二、九四	三、〇九

特等 外品 三品 以上 含有 ノ	二 等 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ				三 等 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ			
	同 密 封 入	同 米 俵	同 古 吹	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同
一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇
五、 五五	五、 五五	五、 五五	五、 五五	五、 五五	五、 五五	五、 五五	五、 五五	五、 五五
一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇
一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八

特選 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ	一 等 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ				二 等 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ			
	同 密 封 入	同 米 俵	同 古 吹	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同
一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇
三、 一六	三、 一六	三、 一六	三、 一六	三、 一六	三、 一六	三、 一六	三、 一六	三、 一六
三、 五五	三、 五五	三、 五五	三、 五五	三、 五五	三、 五五	三、 五五	三、 五五	三、 五五
一、 四二	一、 四二	一、 四二	一、 四二	一、 四二	一、 四二	一、 四二	一、 四二	一、 四二
一、 七五	一、 七五	一、 七五	一、 七五	一、 七五	一、 七五	一、 七五	一、 七五	一、 七五

特等 外品 三品 以上 含有 ノ	二 等 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ				三 等 品 酸 化 カ ル シ ウ ム 分 ノ			
	同 密 封 入	同 米 俵	同 古 吹	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同
一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇	一、 〇〇〇
四、 五五	四、 五五	四、 五五	四、 五五	四、 五五	四、 五五	四、 五五	四、 五五	四、 五五
一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇	一、 四〇
一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八	一、 五八

◆鳥取縣告示第百三十一號  
縣立八頭高等女學校ニ左ノ通專攻科ヲ設置ス  
昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

記

一、修業年限 一ケ年  
一、入學資格 高等女學校卒業程度  
一、生徒定員 四十名  
一、授業開始 昭和十九年四月

◎鳥取縣告示第百三十二號  
昭和十八年六月鳥取縣告示第三百十二號(薪炭配給統制規則第二條並第四條第一項及第二項ノ規定ニ依ル指定ノ件)中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

第二條ノ地方長官ノ指定スル集荷機關中「販賣組合」ヲ「農業會」ニ「智頭木材統制株式會社、鳥取林材株式會社、

若櫻林材株式會社、東伯林材株式會社、米子林材株式會社、日野林材株式會社及境港木材株式會社」ヲ「鳥取縣地方木材株式會社」ニ第四條第一項ノ地方長官ノ指定スル者中「鳥取縣販賣組合聯合會及全國販賣組合聯合會」ヲ「鳥取縣農業會及全國農業經濟會」ニ改ム

◆鳥取縣告示第二百三十三號

昭和十七年十一月十日鳥取縣告示第七一四號蠶絲業經營改善施設補助規程中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

記

第二條中「養蠶系統團體及蠶種共同施設組合」ヲ「農業系統團體其ノ他適當ナル團體」ニ改ム  
 第三條中「養蠶系統團體又ハ」ヲ削リ「認ムル者」ヲ「認ムル團體」ニ改ム  
 第四條第一號及第三號中「郡市養蠶業組合」ヲ「縣農業會」ニ改メ「養蠶實行組合」ノ下ニ「又ハ市町村農業會」ヲ加フ

同條第二號中「又ハ養蠶業組合」ヲ削リ「養蠶實行組合」ノ下ニ「又ハ市町村農業會」ヲ加フ  
 第五條中「養蠶實行組合」ノ下ニ「又ハ市町村農業會」ヲ加ヘ(イ)(ロ)(ニ)ノ「組合員」ヲ「團體員」ニ改ム  
 第六條中「養蠶實行組合」ノ下ニ「又ハ市町村農業會」ヲ加ヘ(イ)(ロ)ノ「組合員」ヲ「團體員」ニ改ム  
 第十一條中「養蠶實行組合」ノ下ニ「又ハ市町村農業會」ヲ加フ  
 第十二條中「養蠶實行組合」ノ下ニ「又ハ市町村農業會」ヲ加ヘ「所屬郡市養蠶業組合」ヲ「地方事務所」ニ改ム  
 別表ノ一中「養蠶業組合聯合會、養蠶業組合」ヲ「縣農業會其ノ他ノ團體」ニ改ム  
 別表ノ二中「養蠶業組合」ヲ「縣農業會」ニ改ム  
 別表ノ三中「養蠶實行組合」ヲ「團體」ニ改ム  
 別表ノ四中「養蠶業組合」ヲ「縣農業會」ニ改メ「ニシテ一養蠶業組合ニ付千圓以内」ヲ削ル  
 別表ノ五ノ補助標準ヲ左ノ如ク改ム  
 團體ノ經費ノ四分ノ一以内ニシテ一團體ニ付二百圓以內

別表ノ六中「養蠶實行組合」ヲ「團體」ニ「一養蠶實行組合」ヲ「一團體」ニ改ム  
 樣式第一號中「養蠶實行組合」及「組合」ヲ「團體」ニ「組合員」ヲ「團體員」ニ改ム  
 同號中「稚蠶兒配給施設ニ關スルモノ」ノ「養蠶實行組合數」ヲ「個所數」ニ改ム  
 樣式第二號中「設置組合」ヲ「設置團體」ニ「養蠶實行組合」及「組合」ヲ「團體」ニ「組合員」ヲ「團體員」ニ改ム  
 同號中「稚蠶兒配給施設ニ關スルモノ」ノ「養蠶業組合ノ負擔金」ヲ「縣農業會ノ負擔金」ニ改ム  
 樣式第三號中「郡市養蠶業組合長」(養蠶實行組合長)ヲ「團體長」ニ「設置組合員數」ヲ「設置團體員數」ニ改ム

◆鳥取縣告示第二百三十四號

左ノ通養蠶實行組合ノ解散ヲ認可セリ

昭和十九年五月二日

鳥取縣知事 武 島 一 義

組合名	事務所所在地	解散年月日
地方養蠶實行組合	東伯郡舍人村大宇方地千八番地	昭和十九年四月十六日
野方養蠶實行組合	東伯郡舍人村大宇野方百八拾七番地	昭和十九年四月十六日
白石養蠶實行組合	東伯郡舍人村大宇白石六百參拾七番地	昭和十九年四月十二日
福永養蠶實行組合	北福參百八拾六番地	昭和十九年四月十五日

正 誤

昭和十九年三月七日付鳥取縣告示第百一十一號(生石灰及消石灰ノ販賣價格改正ノ件)左ノ通正誤ス  
 價格表ノ中段ノ点線ハ之ヲ削リ圓ハ疋ノ誤ナリ